

村井ひでき通信 第7号【経済再生編】



自民党衆議院議員村井ひできです。
(さいたま市 岩槻区・浦和区・緑区・見沼区 選出)

昨年は大変お世話になりました。年が明け、1月28日に通常国会が開会しました。本会議場での座席は最前列。委員会では厚生労働委員会に所属することになり、年金・医療・介護・子育て・若者雇用など、国民生活の基盤となる重要政策に取り組む機会を頂きました。10年20年先を見据えながら、日本のため、さいたまのため、全力で汗をかいてまいります。

さて、今後も村井ひでき通信を定期的に発行し、国会での活動・国政の動きをご報告して参ります。今年最初のテーマは、安倍政権の最重要政策である「経済再生」です。

「3本の矢」で経済再生を

安倍内閣は、1月11日に「日本経済再生に向けた緊急経済対策」を決定し、1月15日に過去最大規模の補正予算を決定しました。1月22日には政府と日本銀行がデフレ脱却と経済成長のための政策連携を発表しました。さらに、日本経済再生本部、産業競争力会議、規制改革会議等を立ち上げ、民間有識者の知恵を結集し、これまでよりもさらに具体性・実効性のある成長戦略の検討も始めています。

まさに、機動的な財政政策、大胆な金融政策、成長戦略の「3本の矢」で、経済再生に向けて強力な政策展開を推し進めています。

わずか数年間で国富は50兆円減り、

国民の平均所得も50万円下がった我が国にとって、経済再生こそ最大の課題です。経済を成長軌道に押し戻し、我々日本人が守り続けてきた「頑張った人が報われる社会」をしっかりと取り戻していかなければなりません。

もちろん、20年も続くデフレと景気低迷から簡単に抜け出せるわけではありません。これまでの政権も様々な対策を打ち出しましたが、解決できませんでした。今こそ、これまでの常識を打ち破る、次元の異なる政策を作り、実行すべき時です。そして、新政権では、「世界一」「有言実行」「くらしを守る」をキーワードに、強力に政策展開をして参ります。



1月5日 日本テレビ「ウエークアップ! ぶらす」に出演しました。辛坊キャスターの厳しいツッコミに悪戦苦闘しました。近日中にHPIにアップ予定です。



12月26日 初登院。初心を忘れずに生まれ故郷の声を丁寧に国政の場に届けます。



12月9日 選挙戦中に小泉進次郎青年局長が応援に来てくれた際の一幕。自民党国会議員の中で8番目に若いのが小泉局長。私は9番目。力を合わせて頑張ります。

「世界一」を目指す

これまでの常識を打ち破る政策の第1番目。それは、世界一を目指すという高い目標を掲げている点です。

昨年のノーベル生理学・医学賞は、iPS細胞を発見した京都大学の山中教授が受賞しました。これが実用化され、画期的な薬や治療法が生み出されるようになれば、夢のような健康長寿社会が実現できるとともに、**世界一の医療産業**が我が国で生まれることとなります。政府としては、iPS細胞実用化に1000億円以上投資するとともに、研究開発全体で1兆円以上を用意しています。

また、我が国には、世界に通用する技術やノウハウをもった中小企業が多数あります。こうした「キラリと光る」中小企業に、世界一を目指していただく。そのた

めに、中小企業が行う設備投資、海外展開といった新たなチャレンジに対し、1000億円以上の支援を行います。

さらに、既に省エネ世界一を実現している我が国産業において、より上を目指す企業を支援するために2000億円を用意しました。これから具体化する成長戦略でも、「世界一経済活動しやすい国」を実現するため、「国際先端テスト」を導入し、国際比較して見劣りのする規制・制度は全面的に改めていく予定です。

世界一をあきらめた国に、優秀な人材や企業は集まりません。あえて高い目標を掲げ、課題を乗り越えるために政策を総動員していく。**まさに、政策分野で「侍ジャパン」「なでしこジャパン」を目指すための挑戦です。**

【浦和事務所】〒330-0063さいたま市浦和区高砂1-10-18-4F

TEL048-825-0085 FAX048-826-5304 info@muraihideki.com

【国会事務所】〒100-8981千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館911号室

TEL03-3508-7647 FAX03-3508-3297

有言実行

これまでの政策と違う第2番目。それは、有言実行です。例えば、大胆な金融政策。この20年間、デフレ脱却のために大胆な金融緩和が必要なことは誰もが指摘してきました。しかし、金融政策は日本銀行が行うものという通念に囚われ、インフレ目標の導入など世界で当たり前である金融政策は1度も導入されませんでした。

今回は違います。経済財政諮問会議を再開し、政府と日本銀行が定期的に意見交換する枠組みを復活しました。日本銀行の政策決定会合に経済再生担当大臣が出席し、議論に参加することも始めました。これらを通じた粘り強い働きかけの結果、日本銀行は史上初めて

2%のインフレ目標を掲げたのです。

金融市場は早速反応しています。ものづくり企業を苦しめていた円高は、瞬く間に3年振りの円安水準に戻りました。株価も3年振りの高水準まで回復しています。**今、世界中の投資家が日本市場に注目しています。**

有言実行は、東北復興にもあてはまりません。行政の縦割りを排し、復興庁がワンストップで要望を吸い上げる体制に転換しました。また、補正予算でも、1.5兆円以上の思い切った予算措置を講じています。復興という言葉だけを唱えるだけではなく、実際に行動で被災地を元気づけていきます。



12月28日 テレビ埼玉の「ウィークエンド930スペシャル」に出演しました。初登院の感想、今後政治家として実現したいこと等、30分程お話をさせて頂いております。近日中にHPにアップ予定です。



2月3日 地元の節分祭に参加。写真は、武蔵第六天神社(岩槻区)。豆だけではなく、お餅、お菓子、カップ麺まで蒔かせて頂きました。



村井ひできブログも更新中です。ぜひご覧ください。

<http://ameblo.jp/murai-hideki/>

くらしを守る

そして、今般の経済対策は「くらしを守る」という点を強く意識したものと なっています。

マスコミ報道の中には、公共事業の復活だとか、古い自民党への逆戻りという批判もあります。しかし、予算の内容を見ていただければ、「誰も使わない道路」と揶揄されるような時代遅れの事業は見当たりません。

インフラ投資は、民間企業では対応できない、まさに政府ならではの仕事です。それをより効果的に実施するために、「国民生活の安全安心に真に必要なかどうか」を基準とした投資を進めることにしています。

例えば、補正予算には事前防災・減災のために2兆円を超える投資を予定しており、災害時に、地域の拠点となる病院

や学校、道路等について、しっかり耐震化工事を進めていきます。

また、世界で一番子育てしやすい社会を実現するため、保育士の人材確保や幼稚園就園奨励費の引き上げ等に100億円規模の予算措置を行い、保育や地域の子育て支援を充実させます。さらには、若者の厳しい就職状況を改善するため、地域の学校と職業訓練を連携させる新しい事業を進めていきます。

以上のように、「世界一」「有言実行」「くらしを守る」の3つをキーワードに、これまでと次元の異なる政策を展開し、経済再生、そして国民生活の豊かさを取り戻していきます。村井ひできも、しがらみの無い若さを活かして、政策提言していく所存です。

村井ひできと話をしてみませんか？

村井ひでき事務所では、随時ミニ集会を開催。皆様から国政に対するご意見を伺い、村井ひできの考えを述べさせて頂いております。「教育」・「子育て」・「暮らし」の話題から、「国家財政」までテーマは何でも結構です。村井ひできとの懇談をご希望の方は、是非村井ひでき事務所までご連絡ください。

国会見学のお知らせ

村井ひでき事務所では、新人議員村井ひできの活動を知って頂くため、また国政の現場をご覧頂くために、国会見学を企画しております。ご希望の方は、是非村井ひでき事務所までご連絡ください。

衆議院議員 村井ひできミニプロフィール

昭和55年さいたま市生まれ。浦和市立別所小学校、東京大学卒業。平成15年財務省入省。米ハーバード大学大学院修士・ケネディ行政大学院客員研究員を経て、主税局課長補佐、参事官補佐。平成23年10月財務省退官。平成24年12月 第46回衆議院議員総選挙において96242票を頂き初当選。現在、厚生労働委員、科学技術イノベーション推進特別委員、自民党青年局長。32歳。

《村井ひでき事務所移転のお知らせ》

2月中旬より、現在の事務所(浦和区高砂1-10-18-4F)より新事務所(浦和区常盤9-27-9)へ移転いたします。お気軽にお立ち寄りください。

